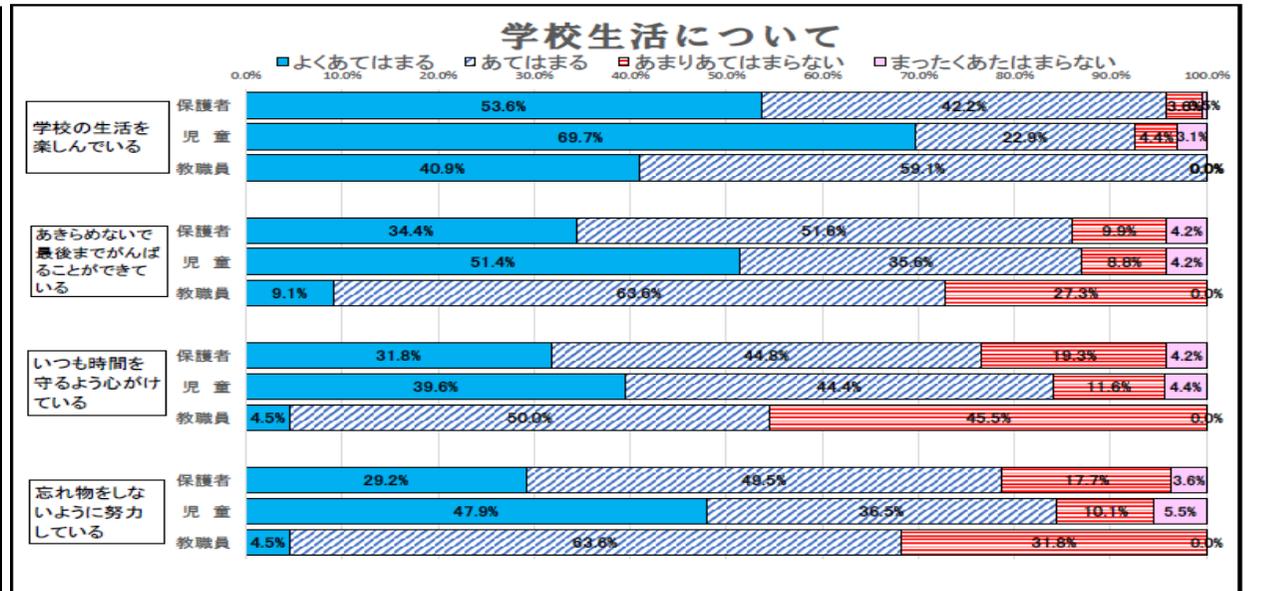
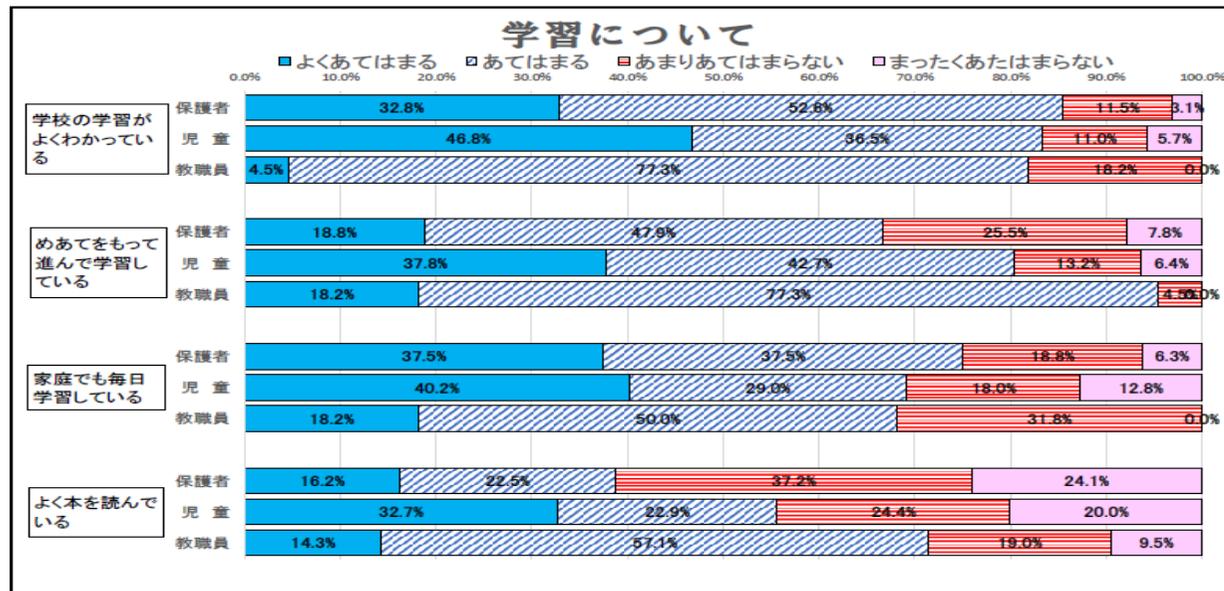


【立野小教育活動に関するアンケート】結果

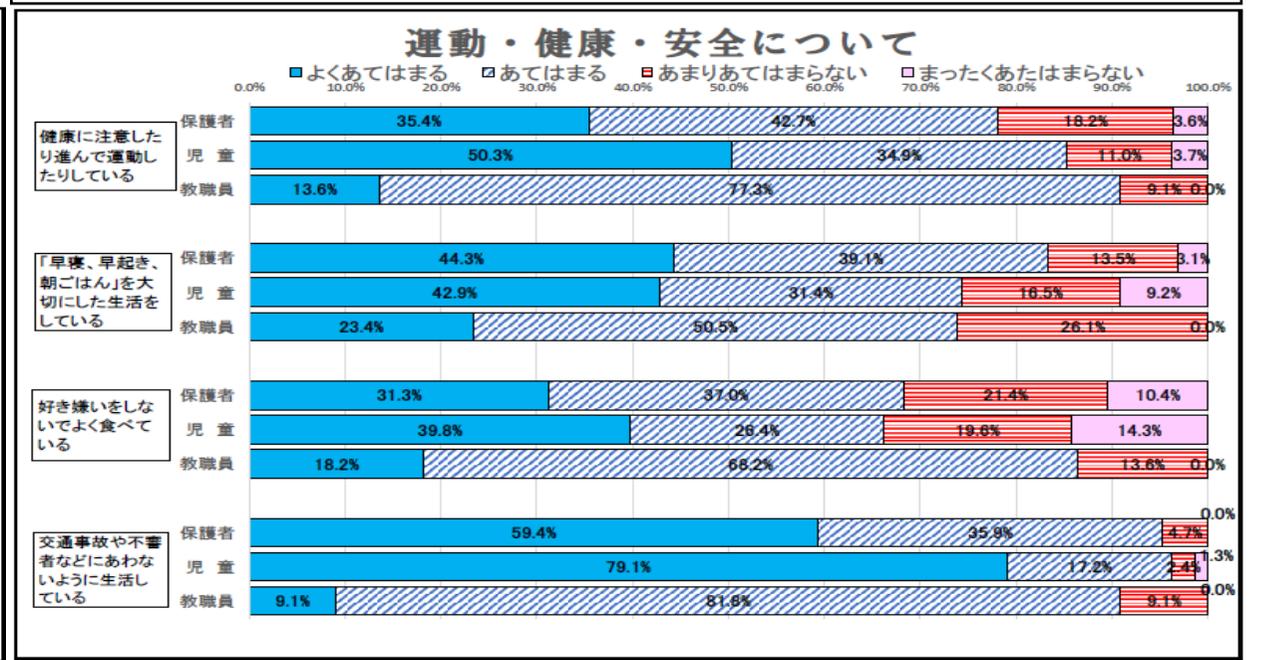
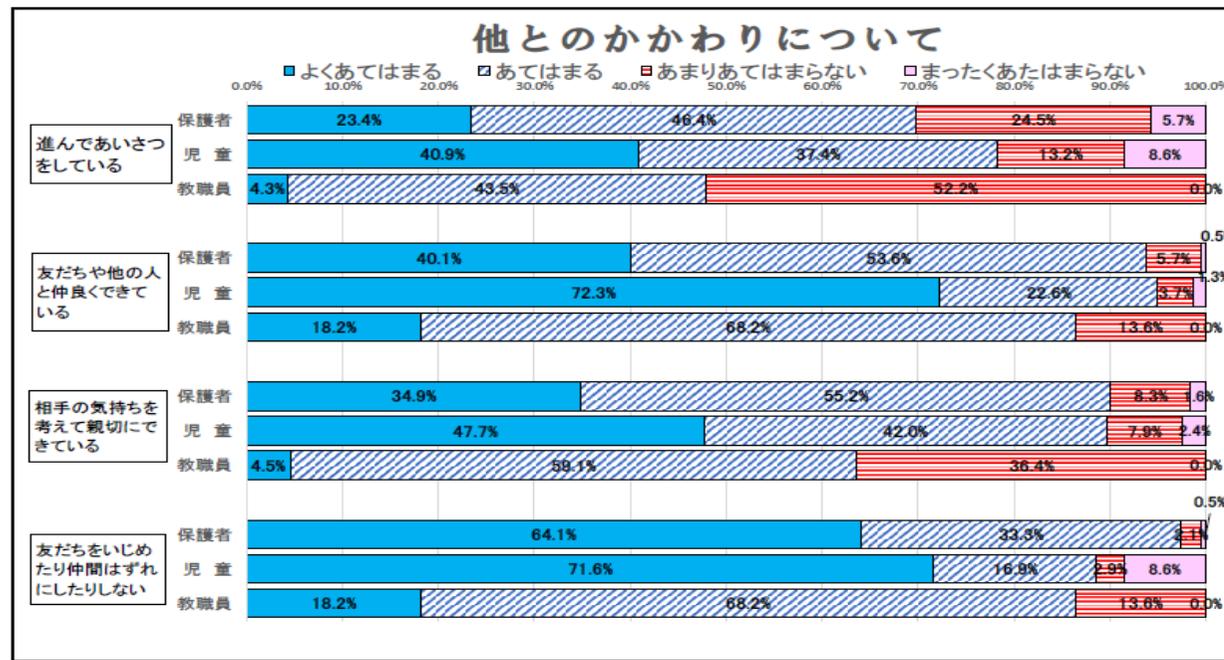
I 児童の学習・生活の様子について(児童・保護者・教職員対象)

※「よくあてはまる」と「あてはまる」をあわせた割合を『十分』と、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を『不十分』として記述しています。



・学習理解については、『十分』となる割合の三者の平均が80%をこえ、昨年度と比較しても0.7ポイント程増となっています。また、「めあてをもって学習している」についても、三者の平均が80%を上回る結果となりました。今後もめあてを明確にし、「わかった」と実感できる授業を進めていきたいと考えます。
 ・「よく本を読んでいる」についても、三者の平均が昨年度を4.6ポイント上回りました。今後も引き続き、学校、家庭での読書習慣をつけていくことが大切です。

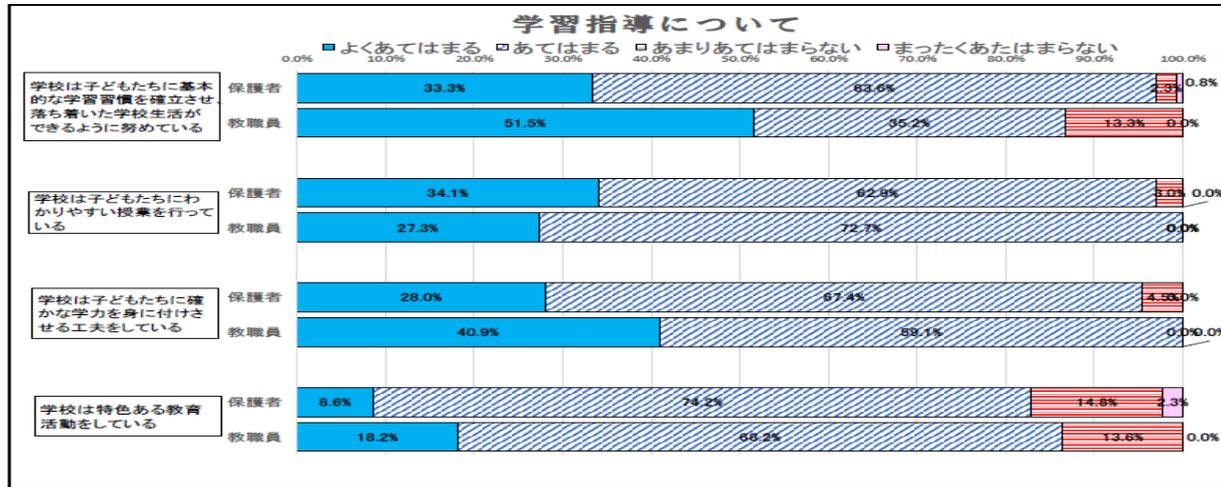
・「学校生活を楽しくしている」については、『十分』の割合が平均96%程と非常に高く、子供たちが学校生活を楽しくしていることがわかります。また、「忘れ物をしない」については、昨年度と比べ『不十分』の割合が、5.6ポイント減となりました。
 ・「時間を守る」では、教職員の『十分』の割合が54%程で、昨年度と比べても割合が低下しています。教職員は、授業の準備をしてチャイム前に着席するように指導しています。今後も時間を守ることの大切さを指導し、生活習慣を身に付けさせていきます。



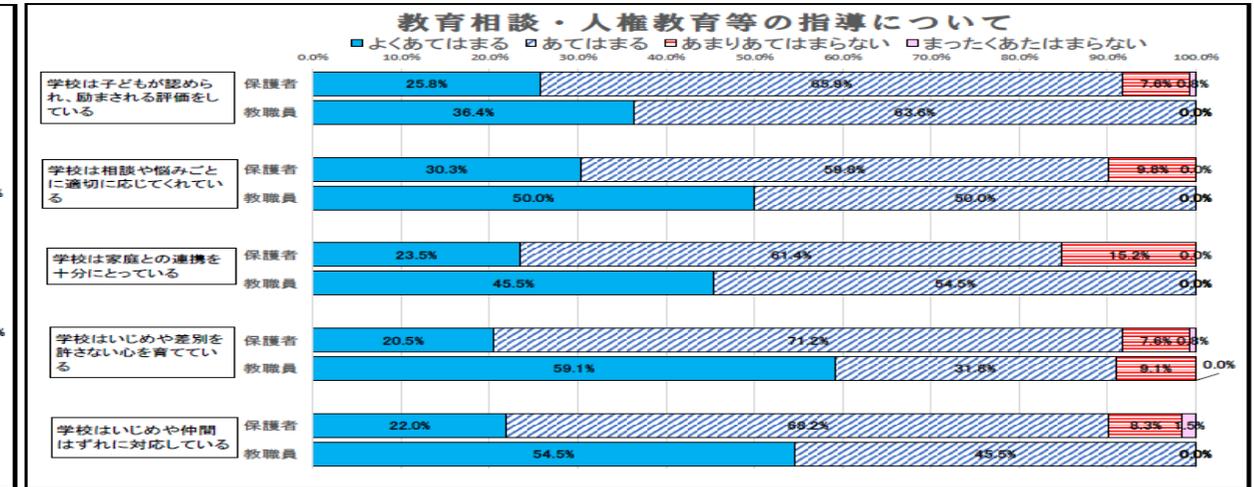
・「あいさつ」では、保護者・児童に比べ教職員の『十分』の割合がかなり低く、昨年度より33.2ポイント低下しています。教職員は、「いつでも、どこでも、自分から」を目標にしているため、それが児童に伝わるように引き続き指導していきます。
 ・「相手に親切にできている」において、『十分』の平均割合が81%で、昨年度と比較して9ポイント低下しています。相手を思いやる日常での言動について継続的な指導、人権教育や道徳教育の推進、「なかよしタイム」での縦割り班活動の充実などをとおして、思いやりの心を育成していくことについても、引き続き取り組んでいきます。

・「進んで運動する」については、『十分』の平均割合が85%程度となり、昨年度より0.7ポイント低下しました。引き続き、週1回の元気タイムの8秒間走や5分間走、運動委員会の児童が企画する休み時間の鬼ごっこやドッチボールなど、児童が遊びの中で体を動かす機会を確保していきます。
 ・「好き嫌いをなく食べる」において、『十分』の平均割合が昨年度より4ポイント増となりました。特に教職員の評価が向上しています。「給食をきちんと食べる」ことができる児童が増えてきたと思われます。引き続き、「おいしく楽しい給食」を続けていきたいと考えます。

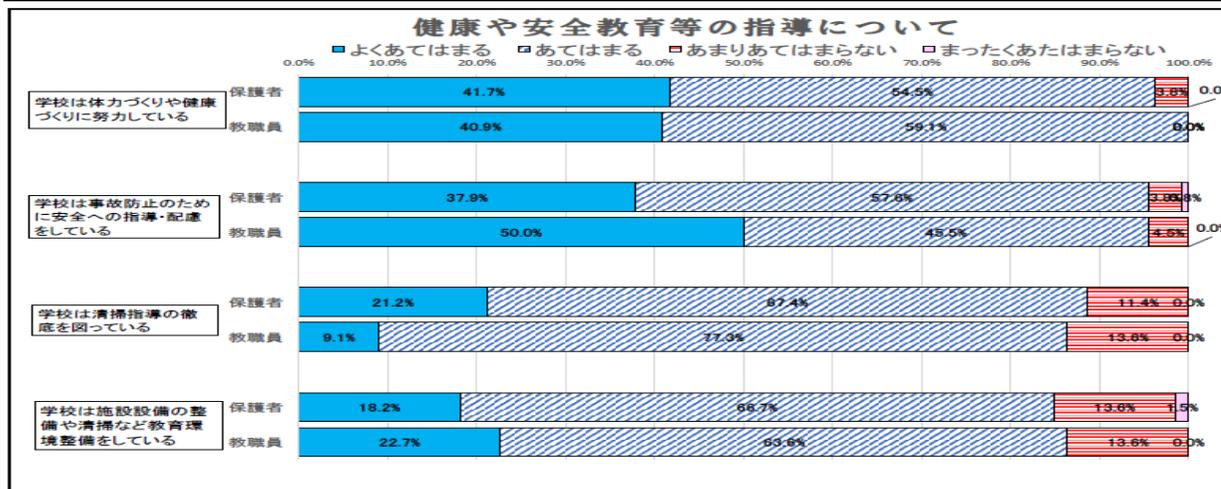
II 学校の教育活動全般について(保護者・教職員対象)



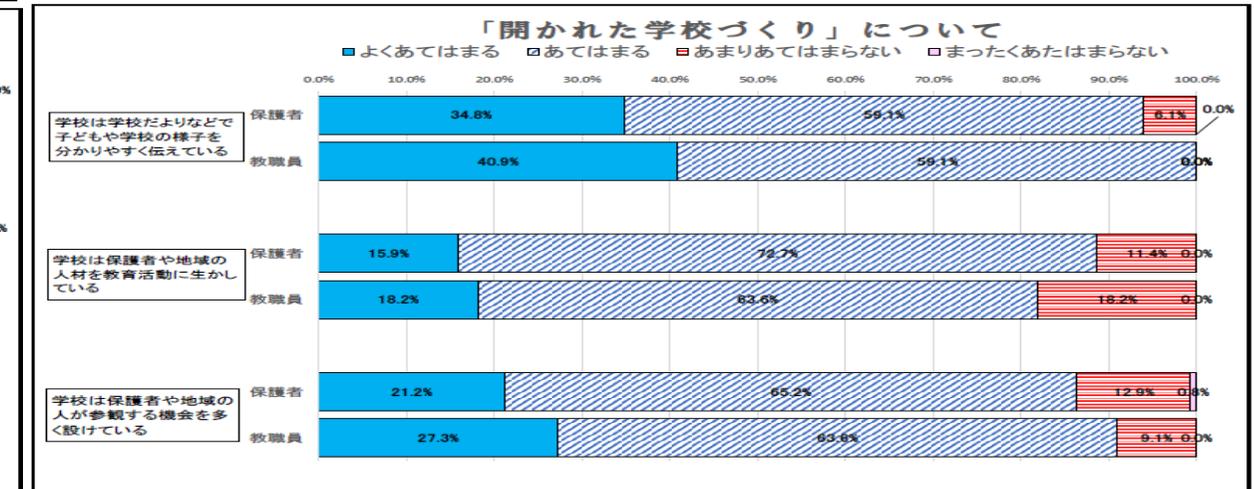
- ・「学習指導」においては、昨年と同様に、いずれも『十分』の平均割合が90%以上なっています。「確かな学力」については、昨年度よりも5ポイント増となりました。今後も学習の基礎・基本をしっかり身に付けさせ、ICTを効果的な活用し、魅力的な授業づくりに取り組んでいきます。
- ・「特色ある教育」は、『十分』の平均割合が85%程度となり、昨年度よりも2ポイント低下しました。これは教職員の回答が低下したことによります。保護者の方へも本校らしい教育活動について理解を得るよう今後も取り組みます。



- ・5項目ともに『十分』の平均割合が90%をこえています。今後も児童と教職員、保護者と教職員のコミュニケーションの充実を図っていきます。
- ・いじめについては、『十分』の平均割合が95%をこえ、昨年度よりも1.3ポイント増加しました。今後もトラブルやいじめについて、未然に防止するとともに、起こった際には「生徒指導委員会」を中心に組織的に速やかに対応していきます。



- ・「体力、健康づくり」については、昨年度に引き続き、大変良い成果(『十分』の割合が全項目中最高値)が出ています。今後も引き続き、充実した指導をしていきます。
- ・「清掃指導と環境整備」については、『十分』の割合が、他と比べて低くなっています。開校48年目を迎え、学校施設も古くなってきましたが、大切に使っています。今後も清掃と整備を行い、改善を図っていきます。



- ・「学校の様子の発信」については、保護者の『十分』の割合が昨年度より、やや低下しました。学校だよりや学級通信、学校HPへ関心をもってご覧いただけるよう、よりタイムリーな情報の提供など工夫していきます。
- ・学校と保護者、学校と地域との連携・協力については、『不十分』との意見が見られます。今後、学校運営協議会におきましても、地域で子供を育てるための三者の連携について協議していきます。

【来年度への教育活動の重点】

◎ あいさつ運動の継続

- ・進んであいさつできるように学校全体で取り組みます。
- ・場に応じたあいさつを身につけることを目指します。

◎ 「時間を守る」習慣の定着

- ・時間を守ることは、子どもたちの自立を促し、社会性を育む上で非常に大切なことです。
- ・児童に時間を守る大切さを具体的に説明し、指導します。

◎ いじめのない安心できる学校づくり

- ・道徳科や学校生活の指導をとおして人権教育を充実させます。
- ・生徒指導を着実にを行い、いじめには組織的に対応します。

◎ 交通安全の強化

- ・PTA、地域と連携・協力をはかり、児童の交通安全意識を高めます。

◎ きれいな学校を目指して(清掃について)

- ・児童に掃除用具の使い方や清掃方法を丁寧に指導します。

◎ 「地域」で学ぶ

- ・地域で学ぶ校外学習を充実させていきます。
- ・保護者、地域の方のゲストティーチャー、学習ボランティアの活用を充実させていきます。

◎ 積極的な情報発信

- ・学校ホームページやリーバーを活用し、立野小の教育活動の積極的な情報発信をしていきます。